

## 第 26 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

- と き：令和 2 年 9 月 17 日（木曜日）16 時 45 分から 18 時 10 分まで
- ところ：新別館南館 8 階 大研修室
- 出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・副首都推進局長・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・スマートシティ推進監・府民文化部長・IR 推進局長・福祉部長・健康医療部長・商工労働部長・環境農林水産部長・都市整備部長・住宅まちづくり部次長・教育長・府警本部警備部長・大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部長

### 【会議資料】

#### 会議次第

- 資料 1－1 新型コロナウイルス感染症の府内発生状況
- 資料 1－2 大阪モデル モニタリング指標の状況
- 資料 1－3 （参考）新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況
- 資料 1－4 入院・療養の状況
- 資料 1－5 現在の感染状況・療養状況について
- 資料 1－6 （参考）中野オブザーバーによる新規感染者数の予測
- 資料 2－1 イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請
- 資料 2－2 （参考）イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請 新旧対照表
- 資料 2－3 飲食店における感染防止対策の取組み
- 資料 2－4 体育祭等の学校行事に係る取扱いについて
- 資料 2－5 府内企業におけるテレワーク等の ICT 導入状況
- 資料 3－1 秋冬に向けた今後の検討課題
- 資料 3－2 （仮称）大阪コロナ重症センター（1 期）の整備状況について
- 資料 3－3 国の重症基準変更に伴う取扱いについて

### 【知事】

- ・皆さんお疲れ様です。
- ・現在の新型コロナの状況、そして今後の対策ということで、26 回目の本部会議を開催いたします。
- ・振り返ってみれば、8 月の上旬、非常に大きな山、第二波がきましたが、府民の皆さん、事業者の皆さんのご協力でなんとか抑えつつある、減少傾向にあるという状況かと思えます。
- ・1 日あたり陽性者数が一番多かった日で 255 名の陽性者の方がいらっしゃいましたが、ここ最近では 2 桁、100 名以下の日が続くというような状況になっています。
- ・本日の陽性者についても 57 名という報告を受けています。
- ・陽性率についても 3% 台ということですので、感染の拡大については一定抑えられていると思っています。
- ・また一時期、陽性者が増えれば重症者も増えるということで、重症者の方が 72 名という時期もありましたが、昨日現在で重症者の方は 28 名という状況になっています。

- ・市中の感染がある程度抑えて込めれば、重症者の数も徐々に下がってくると、そういう状況に入っていると思います。
- ・ただ、これがこのままの状況で続くのか、あるいはもっと前回の第一波が終わったときのように少なくなるのか、あるいはさらにここからまたぶり返して上がっていくのか。これはもう、先は誰も予測ができないという状況です。
- ・府民の皆さんお一人お一人に、感染症対策の願いをしながら社会経済活動を動かしていく。
- ・逆に言うと、社会経済活動をできるだけ動かしながら、その中で府民の皆さんお一人お一人に感染症対策をお願いしていくということが、重要なんじゃないかなと思っています。
- ・前回 8 月 31 日に本部会議を開きまして、連休前までの措置、18 日までの対応というのを決定しました。
- ・今回、この連休直前にさしかかりましたので、今日の本部会議を開いて 9 月 19 日以降の対応と、4 連休に入る前の願いを含めて、現状の分析も含めて対応を協議したいと思いますので、よろしくお願い致します。

※資料 1－1 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－2 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－3 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－4 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－5 に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料 1－6 に基づいて、健康医療部長より説明。

#### 【山野副知事】

- ・感染状況は 8 月の上旬をピークにして、だいたい趨勢としては減少してきている。
- ・その中で今、部長の説明にありましたけれど、資料 1-5 の 6 ページにもありますように、8 月下旬以降、発症日ベース、推定感染ベースで見ると増加傾向にあるという状況であり、非常に注視しているという説明だったと思います。リンク不明が非常に多くなっている一方で、若い方が右肩下がりがから少し上昇に転じていると。
- ・健康医療部としてなかなか難しいと思うんですけども、この原因はどういうふうに分析されているのかということ、わかる範囲で結構ですので教えていただきたい。
- ・それと、もう一つは、大阪特有の話なのか、全国的に見たときに、例えば東京都なんかですね、どういう状況にあるかそれも合わせて、現状の認識ということで確認させてもらいます。

#### 【健康医療部長】

- ・資料 1-5 の 6 ページをご覧いただきたいのですが、推定感染日が 8 月下旬に、可能性としては底を打ったのではないかとと思われる表ですが、やはり 8 月 20 日までミナミ地区への時間短縮等のお願いを強くお願いしていたということの効果が、表れていたと。
- ・そのことによりまして、感染が右肩下がりになり、経済活動を再開したことによりまして、逆にここは夜の街関連、あるいは若い方を含めた感染が増える傾向にあるという状況にあるのではないかと考えております。

- ・実は東京都も同じように右肩下がりなのですが、感染の収束が第一波のときのように、感染者が大阪でいうと 10 とかひと桁に向かって急激な感染収束ということではなくて、かなり踊り場が長い感染収束の状況にあると。
- ・それは東京都の傾向も大阪の傾向も同じではないかと思えます。
- ・そのことにもよりますが、現時点で実効再生産数を簡便に計算いたしますと、再生産数が 1 を上回るギリギリのところにある状況ではないかと考えております。

#### 【知事】

- ・6 ページを見ると、傾向としたら、特にオレンジの感染経路不明で、微増というふうに藤井部長おっしゃったんですけど、どこを見て微増ってということなんですかね。
- ・どちらかというとも 8 月下旬ぐらいから横ばいに近いのかなと思う。ある意味、減少の幅がもう底を打っている。前のようにゼロに近い数字にはなっていないのが、今の状況なのかなと。
- ・8 月 20 日以降、そういう状況になっていると読めるんですけど、分析ってどうなんですか。増えているというのも少し何か違うような気がします。

#### 【健康医療部長】

- ・大阪市内と市外と合わせたリンクレスの状況ということになっているということと、まだこれから感染確定される方を、この点線囲みのところには足していきますので、これが右肩上がりになる、プラスアルファになるのか、逆にここで一旦上がったけどもまた収束していくかというのは、ここ 1 週間ほど経過を見る必要があると思えます。
- ・場合によっては、リンクレスの方が 1 日 50 名以上出るという高い水準ですが、知事がおっしゃるように、そこで踊り場的に横に繋がっていくという可能性はあると思えます。
- ・ただ 1 点、本日の資料の中には入れてないのですが、大阪市内と市外のリンクレスの推移を見ますと、大阪市内はリンクレスは発症感染日推定ベースで横一線になっているんですが、市内を見ますと増加傾向にあると。
- ・ちょうど 1 対 1 ぐらいですので、合わせますとあまり増えてなく見えるんですけども、市内でリンクレスの方が増える傾向になってくれば、より強く注意する必要があるなと思っています。もう 1 週間ほどこの状況は見たいなと考えています。

#### 【知事】

- ・市内でとなると、若い世代 20 代 30 代が少し増えつつあるんじゃないかというような意見もあったかと思いますが、そこは、どの資料でどこを見れば。

#### 【健康医療部長】

- ・7 ページの青い線が 40 代未満の方です。
- ・1 週前が 251 だったのですが、直近の 12 日までのデータでは 295 ということで、施設クラスターが収まりつつありますので、高齢の方の感染者が落ち着きつつある一方で、若干若い方の感染者が増える傾向があると。もちろんもう 1 週間ほど見る必要があると思えますが、傾向が出ているってことは注意すべきポイントだと考えています。

## 【知事】

- ・このまま横ばいになるのか、あるいはまた第二波の最初みたいに上がっていくのか、ここから下がるのか、少しわからないですが、第二波で見ると、根本的な疑問なんですけど、なぜ急激に上がっているのか、専門家はなんて言っているのですかね。意見聞いてもやはり、ここは結局謎なんですよ。
- ・いろんなミナミの検査場とかいろんなお願いをして、7月の下旬ぐらいがどうもピークで、また緩やかだけど下がってきていると。
- ・何で急激に増えて下がってきているのか、根本的なところなんですけど、ここは専門家に聞いてもわからないっていうことですかね。

## 【健康医療部長】

- ・いろいろ先生方のご意見を聞くと、6ページになるんですが、7月23日あたりがピークだとすると、夜の街への注意喚起、16日の検査場の設置であるとか強い注意喚起、あるいは、陽性者が100人を超えたという報道機関の皆様を通じた注意喚起のインパクト、連休前のお願い、こういう注意喚起の様々なメッセージで、少しずつ府民の皆さん、飲食店を含めた事業者の皆さんが注意をしていただくことで、感染拡大の再生産数が落ちるのではないかというご意見もいただいております。ただ、確定的にこの取組みが効果があったというご説明はなかなかできません。
- ・一方で、夜の街感染者の数が夜の街に関連する取組みで、急激に少なくなっていますので、注意喚起をしないと右肩上がりに感染が広がっていくというリスクは極めて高いと思っていますので、やはり様々な注意喚起が功を奏していると考えています。
- ・詳細の分析はもう少し専門家のご意見も含めて、次の本部会議あたりに出したいと思っています。

## 【知事】

- ・8月以降も5人以上の飲み会、宴会の自粛要請であったり、ミナミの要請であったり、それですいぶん右肩下がりに下がってきていますが、それも解除して動かしていこうというときと同じ状況に今なって横ばいになっているという分析ですかね。その先はちょっと様子を見ないとわからないということですね。
- ・あと、重症の分析なんですけど、年代別に見ると、60代以上で75%ぐらいということですね。10代はゼロで、20代30代は合計で3人ですから、やはり重症者としては、50代以上、60代以上で75%ですので、ここが要注意というところです。
- ・お亡くなりになるっていうとここで見ると、70代以上が80%。逆に言うと、50代60代の重症者の方は生還しやすいとそういうことなんですかね。
- ・重症で入院療養されていた方でお亡くなりになられた方が24名、重症と診断されずに入院療養されていた方でお亡くなりになった方が75名いますので、重症で入院療養されていた方の3倍近く、お亡くなりになられています。
- ・これはやはり、クラスター感染で亡くなった方が多い、つまり、この状態でもし感染したらまずいという方が感染してお亡くなりになっている。人工呼吸器をつけるとかそういう状況でそもそもないということが多いんですかね。3倍多いことについて、どういう分析でしょうか。

**【健康医療部長】**

- ・ご高齢の方に関しましては、そもそも医療機関で基礎疾患の治療を受けている方でありますとか、その方のそのときの状況を、治療にあたられている医師が、ご家族等ともご相談なさって治療方針を確認されていると思うんですが、その中で、挿管等を行わずに死亡に至られた方が75名いらっしゃるということですよ。
- ・ですから、死亡率が非常に高かったというのは、大阪府内で施設クラスターが非常に多く起こると、もともと高リスクの入所の方ということで、死亡される方の増加に直結してしまうということだと思います。

**【知事】**

- ・第二波の重症の合計の方196名いますが、退院解除が88名ですので、約90名の方はすでに退院・解除ということで、退院もされている。軽症中等症で49名いらっしゃるよ。
- ・今重症の方は35名で、死亡が24名ですから、どちらかという重症でICUとかそういうところで治療を受けている方が、生還率が高い。
- ・しかしお亡くなりになる方の分析という意味では、そもそもそこに至らない高齢者施設で、基礎疾患を持たれている方とか、この方にうつたらずいという方にうつっていると、そういうふうに捉えていいんですかね、評価としては。

**【健康医療部長】**

- ・そういうことだと考えています。やはり、大変多くクラスターが起こったというのが、今回の波の大きな教訓だと思います。

**【知事】**

- ・高齢者の方の命を守るという観点からすると、居住型の施設、超高齢の方とか、基礎疾患をお持ちの方だとかがいっぱいいらっしゃる施設に、いかにこのウイルスを持ち込ませないか。
- ・重症者の数とか重症率というよりは、そっちの方が重要だということですよ、この数字を見る限りは。

**【健康医療部長】**

- ・重症者の方については、前々回議論になりましたが、早期に検査を受けていただいて早期に診断して重症化を防ぐという治療が大事だということが一点と、やはり今回亡くなられた方の半数がクラスターに関連された方という意味では、いかに関連施設でのクラスターを防ぐかというのが、大変重要な課題の一つであるのは間違いないです。

**【知事】**

- ・分析と対策は、前回も同じ内容だったのでこれを実践していくということになるんでしょうけど、一番のポイントはどういうふうに考えていますか。

### 【健康医療部長】

- ・はい、これまた後ほど簡単にご説明させていただきますが、今回クラスターが発生した施設では、関連される方の全数検査を行った施設も実はございます。
- ・こういった形で、施設関連で、陽性者が出た場合に、できるだけ広く状況に応じて検査するということが大事で、そのための検査体制の強化というのを急ぎたいと思います。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-2に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-3に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-4に基づいて、教育長より説明。

※資料2-5に基づいて、商工労働部長より説明。

### 【知事】

- ・まず、イベントの開催については、国で大きな方向性が出されたところでもありますし、それに準じて進めていくということで、僕もいいと思っています。
- ・それから、このイベント等について、どこで線を引いているのかと言えば、大声での歓声・声援があるかないかというところで引かれています。
- ・ウイルスが唾液の中にたくさんいるというのが、ほぼ共通の認識・事実でありますし、まさにそれが基準になっているというところでもあるので、上品に言えば大声で歓声・声援ですけど、唾液が飛び交うようなところは危険ということだと思います。
- ・そう考えたときに、前回の要請でも多人数で唾液が飛び交う宴会・飲み会、どんちゃん騒ぎは控えてくださいということをお願いしていますが、これは維持すべきことなのかなと思います。
- ・先ほどのイベントの基準で、口から発するものが感染に非常に影響を与えているということは、周知の事実であります。
- ・大阪の感染状況を見ても、ここ2週間においては、ほぼ横ばいです。全体の感染の山としたら、7月に上がってきて、7月下旬から8月の頭でこれを抑えて、色んな対策をとって右肩下がりになっているのが第二波ですが、直近2週間だけ見れば、ほぼ横ばいです。
- ・藤井部長は、上がっていると評価しましたが、これを客観的に言ったら、ほぼ横ばいの誤差なのかな、と。下がっているわけでもないし、上がっているわけでもない。底を打っていると、僕は数字を見る限りでは、評価をしています。
- ・この後、これが上がってくるのかもしれないし、このまま横ばいのような同じような一進一退が続くかもわからないし、下がるかもわからない。
- ・これは1週間、2週間を見るべきだというのが、藤井部長の意見でもあるし、僕もそうかなと思います。
- ・なので、8月31日に、9月18日までの要請をさせていただきましたが、基本的に府民の皆さんにお願いしたいことは、現状維持です。今の大阪の感染状況を見ても妥当だと思います。
- ・それから、その中でも高齢者の皆さんやその施設の職員の皆さんへの呼びかけ等々も、先ほどの重症者、そしてお亡くなりになられた方の分析を見ても、非常にここが重要だろうと思っているので、ここは維持していきたいと思っています。

- ・なので、基本的には前回と同じお願いを、9月19日から10月9日まで20日間お願いするということにしたいと思います。
- ・あと、教育庁から話があった点ですけど、第二波で8,000名の陽性者が出ていますが、重症者については、10代以下は0名ということもまた事実です。20代で1人、30代で2人ということなので、学校における教育活動を過度に制限することがあってはならないと思います。
- ・特に、この文化祭とか体育祭は、生徒にとっても保護者にとっても、一生に一度の思い出になる非常に重要な、教育的要素も高いものだと思っているので、さきほどの重症化も含めたコロナウイルスの特性を見たときに、もちろん学校の中に陽性者がいれば、感染者が出ることはあり得ると思うのですが、強く意識し過ぎて全てをやめるということにはおかしいのかなと思うので、この原案のとおり進めていきたいと思います。
- ・この時期マスクもして下さいと言っている中で、体育祭とか文化祭で来場者が大声で大騒ぎするようなことはないと思いますが、それはどうなのでしょう。
- ・僕も保護者ですが、ビデオ撮ったりする人はいますが、ロックコンサートみたいに大騒ぎするなんていうのは考えられないので、実態に合ったように変更すべきかなと思います。

#### 【教育長】

- ・現場を経験した教員にも話を聞きますと、地域によっては、かつて大声を出して声援をされる方もいらっしゃるという事実もあります。
- ・ただ、このコロナ禍において、これだけ唾が飛び交うことに対する危険性・リスクというものを発信していて、それを府民の皆さんも受け止めていただいていると思いますので、大声を発するというを前提としないでお願いをしたいと思います。
- ・加えて1mという距離を具体的に書いていましたものも、人と人が接触しない程度ということで、現場の判断にお任せをするようにしたいと考えています。

#### 【知事】

- ・これは国が出した地域行事の要件にも合致することですし、それで進めてもらいたいと思います。
- ・この件に関して、府の通知はいつぐらいを想定してるのでしょうか。

#### 【教育長】

- ・今日決定いただければ、直ぐにでも出させていただきます。

#### 【知事】

- ・では、明日にでも通知するというところでよろしく申し上げます。
- ・あと、ICT導入いわゆるテレワークですが、我々としては70%お願いしますとこれまで言ってきたわけですが、大企業においてはそれがほぼ達成されていると。中小企業においても、コロナ禍前と比べると非常に増えて、40%台ぐらいになっているわけですが、中小企業のテレワーク導入支援であったり、テレワークをお願いする以上、何か策はあるんですか。

#### 【商工労働部長】

- ・基本的には中小企業のICTのテレワーク関連のものについては、例えば国の方でITの導入補助金ですとか、働き方改革に係る支援の助成金ですとか、そういった制度が適用されます。
- ・あるいは、府でも色々な融資制度の方を持っておりまして、資金面での手当というのは進めていくことができます。どこから手をつけていいかわからないというような、中小企業さん、あるいは小規模事業者さんがたくさんいらっしゃいます。
- ・相談あるいはセミナーなどを開催して、テレワークのメリットを啓発していくといったことが大事かと考えておりまして、これから力を入れていきたいと考えております。

#### 【知事】

- ・テレワークに対する補助金があるということなので、その周知と同時に相談体制の強化をお願いしたいと思います。

#### 【商工労働部長】

- ・承知いたしました。重要なことだと思いますので、取り組んでまいりたいと思います。

#### 【知事】

- ・Go To Eat キャンペーン、少人数の飲食応援キャンペーンに合わせて、飲食店の見回りの現地調査について申し上げたいと思います。
- ・Go To Eat キャンペーンの適用の飲食店事業者は、これは国の事業ですけど、大阪府のステッカーを導入して、感染症対策をやるということを条件にさせていただきたいと僕から大臣にもお願いをしまし、実務的にもそうなると思います。
- ・ですので、それが条件になったときに、大阪の繁華街の飲食店は賃料も高いですし、狭いところで座席も広くないようなところが多いと思いますので、そういった店に現実的に感染対策をとってもらおうという点でいうと、追及というよりアドバイスをしてもらいたいなと思います。
- ・例えば間仕切りや仕切りについても、透明で安価なものを置くだけのものもあつたりしますし、消毒液やペーパータオルなど、色々アドバイスすることで、対策をよりきちんと履行する場合は多いと思います。
- ・意図的にやる気がないというよりは、みんな協力していこうと。ただ、どうしても店の広さを考えて、ここまでしかできないという事業者が多いと思うので、見回りは実効性を担保するためにやってもらおうと思います。対策を支援するという意味で、広めてもらいたいと思います。
- ・この辺り、危機管理監どうでしょうか。

#### 【危機管理監】

- ・今、各店舗で、色々と手作りでパーテーションなどを置いておられるような事例がありますので、そういったものを事例集として整理しております。どの程度のグレードを入れるかというのは、それぞれ事業者が判断されると思うのですが、費用をかけずにやれることもあるということを、調査員が事例集をもとにお店の方にご説明するというのも考えております。

※資料3-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料3-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料3-3に基づいて、健康医療部長より説明。

#### 【山口副知事】

- ・今後の主な検討課題の一番最後に、ハイリスクの「場」やリスク態様に応じた対策の徹底について記載がありますが、一つは居酒屋や夜の街関連で非常にリスクがあります。
- ・もう一方で、施設や院内のクラスター発生が起こっています。ここで起こると、先ほどのデータから見ても、場合によっては高齢者の方は命に関わるようなリスクがあります。歓楽街の方には、休業要請を行ったり、できるだけ密を避けて飲んで下さいというお願いをしているのですが、施設内感染のクラスターを抑え込むために色々やられていると思うのですが、しっかりと徹底していくことがこれから重要ではないかと思います。
- ・この点について、どういう検討をされていて、これからどう進めるのか、もしあれば教えていただければありがたい。

#### 【健康医療部長】

- ・後ほど福祉部から、福祉部でされている施設への啓発についてもご説明いただきますが、まず院内感染が起こったときには健康医療部でもっております専門家も含めた支援チームを必要に応じて即座に派遣するというのと、施設内で蔓延しやすいということがありますので、一例でも起こった場合に、早期になるべく広い範囲で検査を行うということが非常に大事だと思っています。
- ・とりわけ、今回のクラスターの中で経過を見ていると、例えば高齢の入所者の方と地域内での行き来があるという事例もございましたので、そういった施設内に限らず、幅広い視点でなるべく多くの検査をするという体制を健康医療部としては整えたいと思います。
- ・施設への啓発については、福祉部で取組みを進められておりますのでお願いします。

#### 【福祉部長】

- ・施設に対して感染予防が重要でございますので、まずウェブでの研修を朝野先生にもご協力いただきまして、感染予防に対してのビデオを撮影させていただいて、ホームページ上にアップしております。これは、施設にも周知しております。
- ・そういう研修ビデオをあらためて見ていただいて、感染予防を徹底していただくことで、クラスター発生を防止していきたいと考えております。

#### 【山口副知事】

- ・是非お願いします。まず、検査を充実するというはそのとおりだろうと思います。
- ・一方で、施設というのは、いくらマスクをしていても、あるいは手袋をされていても、例えば介護現場であれば、かなり密な接触ということが起こるという特性があると思います。
- ・できれば、専門家の方の意見を聞いてもらって、そういう場でどうやれば予防できるのか、施設の職員の方は日常的に手洗いやっていただいたり、うがいをしていただいたり、色々あると思うのですが、そういうところもしっかり検討いただいて、できるだけクラスターが発生しないような方策というのを、専門家の意見も聞いていただいて発信していただけるとありがたいと思っているのでよろ

しく願います。

#### 【知事】

- ・山口副知事の発言に関連してなのですが、高齢者の施設は居住系は3,500ですよね。非常に数が多いので、ウェブ研修というのわかるのですが、ウェブ研修についてきちんとそれぞれの施設に周知をして、チラシの配布であったり、より一層周知活動もやってもらいたいと思いますので、よろしく願います。
- ・もちろん、施設が対策をやっているというのは当然だとは思いますが、ただもし陽性者が出れば、こうやって死亡者が出るというのも事実ですし、大阪の事例の分析によると、死亡例が多いのは高齢者に集中しています。
- ・そういった意味では、3,500施設があっても、それぞれ対策の度合いも違うと思いますので、不十分なところがないかという、そうではないと思うので、きちんと周知をやってもらいたいと思いますので、徹底をお願いします。

#### 【福祉部長】

- ・周知を徹底していきたいと思います。

#### 【知事】

- ・あと、秋冬に向けての備えというのが非常に重要だと思います。
- ・この状態でまた増えるか減るかわかりませんが、注意しなければいけないのはインフルエンザのシーズンになってきたときに、他の風邪も当然出てきますし、併発の問題も当然あります。
- ・だから、体制を今のうちに準備しておくというのは、非常に重要だと思います。
- ・それをやる上で、まず検査体制の強化、これは高齢者施設に対する検査ももちろんそうですけど、それ以外で、全体として結局感染が拡大したら、どれだけ頑張っても高齢者施設に飛び火はしていきまから、全体の感染が右肩上がりが増えていくことがないようにしないといけないと思います。
- ・そういった意味でも、検査体制強化が非常に重要だと思っています。今でも元々100件ぐらいだったのが3,000件ぐらいまで体制強化しています。かなり強化していますが、さらに、万単位というか、それぐらいの検査ということを考えてときには、今までやってきたことをもう1回フラットにして考え直さないと成り立たないと思っています。
- ・その意味で、まず保健所の業務ですね。今まで1人陽性者が出たら、積極的疫学調査をやって濃厚接触者が誰かというのを分析して、1人にかけるマンパワーはかなりの力をかけてきました。
- ・人員も非常に強化してやっていますし、ただ大阪市でも50人でしょうか、3倍ぐらいに増やしてやってくれていると思うのですが、想定しなければならぬのはそれ以上に増えたときにどうするのか。
- ・結局、マンパワー頼みだと、今みたいに1人に対する仕事量が多過ぎると限界が出ると思うので、感染者が急増するということを前提とした保健所業務の整理、重点化を徹底的にやってもらいたいと思います。
- ・そうすると、国と違うことをやるわけには当然いかないので、国とも協議しながらということになるんですかね。
- ・役所は足し算するのは得意なんですけど、引き算をするのは苦手なので、引き算をやって、重要なとこ

に労力を充てるといこと、これはある意味、組織のトップがやるべき仕事だと思うのです。

・現場の人は決めたことを一生懸命やりますから、決めたことが多過ぎると結局オーバーワークして、最終的には爆発拡大したときには、検査が充実してないとなってしまいます。引き算は僕らがやらなければならない、責任を負う立場の人間がやらなければならないと思っているので、そこはお願いしたいと思います。

#### 【健康医療部長】

・新規感染者数が 255 人なら何とか対応できましたが、今後どのぐらいの陽性者の発生なら耐えうるのか、どこまで個別の疫学調査等を行うのかについて、段階を追った重点化について検討して、またご相談をしたいと考えています。

#### 【知事】

・あとは冬に向けて、資料 3-1 の 1 ページ目にありますが、かかりつけ医等の身近な医療機関で相談するという点について、医師会等との協力関係が非常に重要になってくると思います。

・したがって、検査体制の充実、保健所業務、トリアージなどについて、専門家会議では医療の現場の皆さんがいらっしゃいますから、そこである程度方向性を決めて、本部会議に諮りたいと思いますので、専門家会議の開催をよろしくお願いします。

・医師会との協力関係でやっていかないと、今までのやり方だけではやっぱり 3,000 件までは増やせましたけど、それ以上の万単位になってくると、とてもじゃないですが無理だと思うので、よろしくお願ひしたいと思います。専門家会議は、僕も出ますのでよろしくお願ひします。

・重症基準については、実際の重症者がいないところで重症者の数をカウントするのもおかしいと思います。我々は重症者を ICU（集中治療室）に入室している患者で数えているわけで、HCU（高度治療室）も入れたら、そもそもの病床が今まで 188 床と言っていたのが、262 床にもなるので、実態にもあまりにもかけ離れてしまうので、実態に合った従来の国基準でいいと思います。東京は ICU の入室患者も外しているみたいですが、入れた方がいいと思います。

・ICU は入れたうえで、重症ベッドの使用率や数を把握して、府民の皆さんにお伝えすべきと思うので、よろしくお願ひします。

以上